



2022年7月15日

各 位

会社名 株式会社東京衡機
代表者名 代表取締役社長 石塚 智士
(コード番号 7719 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理担当 石見 紀生
(TEL. 042-851-6027)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月14日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 2023年2月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (2022年3月1日~2022年8月31日)
(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	3,200	80	75	45	円 銭 6 31
今回修正予想(B)	1,350	50	40	15	円 銭 2 10
増減額(B-A)	△1,850	△30	△35	△30	—
増減率(%)	△57.8	△37.5	△46.7	△66.7	—
(ご参考)前年同期実績 (2022年2月期第2四半期)	3,733	103	101	92	円 銭 12 95

(2) 2023年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年3月1日~2023年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,500	270	260	160	円 銭 22 44
今回修正予想(B)	3,100	170	155	100	円 銭 14 02
増減額(B-A)	△4,400	△100	△105	△60	—
増減率(%)	△58.7	△37.0	△40.4	△37.5	—
(ご参考)前年同期実績 (2022年2月期)	7,449	269	259	121	円 銭 17 04

2. 差異の理由

当社は、当社グループの各事業について、前期より、取引類型ごとに当期から適用開始となる「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)の適用による影響を検討してきました。当社の商事事業につきましては、前回の業績予想公表時点では大半の

取引の売上計上について総額表示となると認識しておりましたが、改めて検討しました結果、当期の商事事業に係るすべての取引の売上高を純額表示とすることにいたしました。これにより売上高の予想は前回公表の数値を大幅に下回る見通しとなったものであります。また、試験機事業につきましては、国内企業の設備投資に回復の兆しが見られ、試験機の引合いや受注も増えつつあり、標準的な試験機の売上は堅調に推移しているものの、受注から納品までのリードタイムが長いオーダーメイドの試験機の売上が新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた前年度からの受注低迷や部品調達の遅れなどにより落ち込んでいることから、売上高・利益ともに前回予想を下回る見通しとなりました。

以上